



## 子どもの鏡は

教育長 津野庄一郎

加藤村長主宰の「関川村総合教育会議」が役場会議室で、3月24日、教育委員を集めて開催されました。村長の挨拶に続いて、私から6年度の関川村教育ビジョンを基に、学校教育と生涯学習の取組を中心に報告しました。中でも子どもたちの各種大会やコンクールでの活躍、せきかわ地域クラブの発足や村史追補編の編集は、大きな成果として共有されました。

本会議の主要テーマは「保小中連携プログラムについて」です。関川村教育委研究協議会（会長：須貝学校長）を中心に、教育委員会・学校運営協議会等で検討し、新たに作成したものです。各委員からは、連携のもととなる家庭における教育が重要であるということから、どのようにそれを充実させるかといった意見が交わされました。特に幼少期からの親子のあいさつ習慣、家庭におけるSNSやネット（ゲームや動画など）利用のルールづくり等の大切さを確認しました。

村長からは、教育ビジョンやプログラムの内容項目が着実に実践されるよう、評価の指針を基に取り組むこと、好事例等を集めて保護者に啓発していくこと、子どもや若者の居場所（地域の行事・祭りを含む）の意義等について助言がありました。

目指す子どもの姿「ふるさと関川を愛し、誇り、学び続ける人づくり」は、学校教育だけでなく、家庭、地域が一体となって取り組む共通の課題です。子は親の鏡といいますが、私たち地域の大人もまた鏡なのかもしれません。未来ある子らのため、ともに手を携えて進んでいきましょう。